

口頭②

調剤報酬改定への備え ～小滝橋通り店での取り組み～

小滝橋通り店
○柴田 聖子
高橋 満
久野 みゆき

【目的】

H28. 4の診療報酬改定に伴い、特定薬剤管理指導加算及び重複投与加算の増額など、算定内容についての変更があった。加えて当薬局では、異動等に伴う人員構成の大幅な変更もあった。このような中で、必要な部分で算定していくためにどのようなことができるかについて検討を行い、スムーズな算定を目指した。

【方法】

算定に伴い、調剤や投薬にかかる時間が増加することから、この時間のねん出、人員構成の変化から知識面の強化、精神系の患者も含まれるため、薬剤師側の変化に動揺されないよう患者対応面の強化が必要と思われた。

このため、レイアウト変更等で業務の効率化、他薬局で使用しているツールを参考にし、また、全員でアンガーマネジメントの講座を受講するなどを行った。

【結果・考察】

H28. 9現在のところ、算定に伴い大きなトラブルは生じていない。今後も患者さんの負担とならないように意識しながら、慎重に算定していきたい。